

# 平成 30 年度事業報告

## 1 管理運営事業

### (1) 九州農業成長産業化連携協議会役員会・通常総会

- ・日時：平成 30 年 7 月 13 日（金）
- ・場所：TKP ガーデンシティ 博多アネックス（福岡市）
- ・概要：平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画、役員選任等

### (2) 企画運営委員会

#### ○第 13 回企画運営委員会

- ・日時：平成 30 年 5 月 15 日（火）
- ・場所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・概要：平成 29 年度事業の実績報告、平成 30 年度の企画運営方針検討等

### (3) 共同事務局会議

- ・日時：原則毎月開催
- ・場所：各構成機関会議室
- ・概要：事業の進捗状況の確認、関係機関の取組についての検討等  
（事務局構成機関）（一社）九州経済連合会、（一財）九州地域産業活性化センター、九州経済産業局、九州農政局

## 2 経営連携促進事業

### <会員間の連携による課題解決>

#### (1) 連携に向けた支援

##### ① 加入者状況（平成 30 年度末現在）

- ・819 団体、企業、個人（平成 29 年度末会員数 771）
- ・九州農政局ホームページの加入登録申込書メールフォームにより、会員登録を受付。

##### ② 会員の連携促進に向けた取組

###### ア 会員の加入促進

- ・会員及び関係機関が開催する商談会やセミナー等のイベントにおいて、協議会パンフレットを配布し、加入を促進。

###### イ メールマガによる連携の促進

- ・協議会の事業、会員及び関係機関が提供する商談会やセミナー等のイベント、施策等の情報をメールマガジンで配信し、会員・関係機関相互の連携を促進。

#### (2) 九州農業連携塾

- ・目的：商工業者と農業者の経営連携、会員相互の定期的な交流、協議会外部との交流促進等を主な目的に開催。
- ・日時：平成 30 年 10 月 11 日（木） 13：30～15：30
- ・場所：合志市役所 防災センター棟 1 階 避難所①（熊本県合志市）
- ・概要：第 25 回目となった今回は「農産物の鮮度保持」を主なテーマとして開催

プレゼン1「農産物の『安全・安心』『鮮度保持』『コスト削減』等のプロデュース」

セブンシップ株式会社 取締役副社長 國富 議生 氏

プレゼン2「最新のサツマイモ事情～新品種から加工まで～」

バイオサポート事業顧問 山川アグリコンサルツ代表 農学博士 山川 理 氏

### (3) 農商工連携促進事業

- ・目的：農林漁業者と中小商工業者が、通常のビジネスの枠を超えて協力し、お互いの経営の強みを持ち寄って、売れる商品・サービスの開発・生産等を行うことで、両者の売上げや利益の増加を目指そうとする取り組み。
- ・「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律」に基づく認定【平成30年度実績】4件
- ・ふるさと名物応援事業補助金（農商工等連携事業）の執行 【平成30年度実績】6件

### <生産性の向上>

#### ○農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座 2018

- ・目的：農業法人、農業者（後継者、新規就農者を含む）及び農業参入を検討中の企業等を対象に、収益確保の仕組みやマーケットインによる商品提供、6次産業化・IT活用による生産性向上等の先進事例を紹介する人材育成講座を開催した。

##### ① 第1回人材育成講座【農業IT、IoTとのマッチング】

- ・日時：平成30年6月5日（火）15：00～17：40
- ・場所：九州経済産業局会議室（福岡市博多区）
- ・概要：農業IT、IoT事業者によるツール紹介と導入支援策を紹介。「九州IoTコミュニティ」と連携して、ITベンダーとのマッチングを実施。
- ・プレゼン企業：株式会社クロスエイジ、株式会社コア九州カンパニー、NECS I株式会社、富士通株式会社、井関農機株式会社
- ・参加者数：46名

##### ② 第2回人材育成講座【テーマ：先進地視察 ～IT導入 現場の声を聴く～】

- ・日時：平成30年9月3日（月）8：10～17：30
- ・場所：JR九州ファーム玉名農場、(株)オプティム
- ・概要：「稼げる農業」への第一歩、最新の生産技術紹介のため、実際にITを導入した現場を視察し、意見交換を実施した。
- ・参加者数：45名

##### ③ 第3回人材育成講座【チャレンジワークショップと共催～GAP取得の意義】

- ・日時：平成30年12月21日（金）13：00～16：30
- ・場所：グランメッセ熊本 中会議室
- ・概要：輸出及び東京オリンピック・パラリンピック調達に必要な国際認証の理解促進のための講演を実施。
- ・講演者：(公財) 東京都中小企業振興公社 事業戦略部 中小企業世界発信プロジェクト事務局 主任 磯 讓二 氏、発注コーディネータ 牟田 実 氏、NPO法人GAP総合研究所 専務理事 武田泰明 氏
- ・参加者数：75名

#### ④ 第4回人材育成講座【テーマ：オランダ農業に学ぶ！】

- ・日時：平成31年3月12日（火）13：30～16：10
- ・場所：九州経済産業局会議室
- ・概要：世界第2位の農産物輸出大国であるオランダの農業に精通した講師を招き、オランダ農業の技術、発達過程、日本の農業への適用について講演を実施。
- ・講演者：株式会社デルフィーージャパン ホーティカルチャースペシャリスト 齊藤 章 氏、株式会社農テラス 代表取締役 山下 弘幸 氏
- ・参加者数：41名

### <付加価値の向上>

#### (1) 課題解決型セミナー

##### ○「6次産業化・農商工連携・地域資源活用フォーラム」

- ・目的：九州全域における6次産業化・農商工連携促進のための販路拡大等を目的とした広域ビジネスマッチング交流会を開催。
- ・日時：平成30年11月8日（木）13：00～16：00  
FOOD STYLE 2018 in Fukuoka 内において開催
- ・場所：マリンメッセ福岡（福岡市博多区）
- ・概要：基調講演「HACCP制度化の概要説明と、海外展開に求められる食品安全要求事項について」GFSI JAPAN 行政連携WGリーダー 吉澤 恒治 氏のほか、6次産業化、農商工、地域資源の各施策の事例発表と農商工連携促進事業を実施する各支援機関からの紹介、ならびに個別マッチングを実施。
- ・参加者数：118名

#### (2) 6次産業化セミナー

##### ○「食に係わる事業者向け支援施策」

- ・目的：農林漁業者の6次産業化を推進し、農林水産物の付加価値向上による生産者の所得向上を図る。
- ・日時：平成30年6月20日（水）14：00～15：00
- ・場所：マリンメッセ福岡（福岡市）
- ・概要：アグロ・イノベーション2018開催時のセミナーにおいて、農林水産省の6次産業化支援について説明。

### <流通・販路の拡大>

#### (1) 国内市場における流通・販路の拡大

- ・目的：九州全域における6次産業化・農商工連携促進のための販路拡大等を目的とした広域ビジネスマッチング交流会（個別商談会）を開催。

##### ○ FOOD STYLE 2018 開催

###### 【開催概要】

- ・開催形態：「FOOD STYLE 2018」実行委員会と共催。
- ・開催日時：平成30年11月6日（水）、7日（木）10時～17時（最終日は16時）

- ・場 所：マリンメッセ福岡（福岡県福岡市）
  - ・来場者数：13,101名
  - ・商談数：401商談（事前マッチングのみ）
- ※当会会員企業がセラーとして12社参加

## （2）海外市場に向けた輸出の拡大

- ・目的：九州一体となった農水産物・食品の輸出促進を輸出部会で検討し実施。
- ① 海外からのバイヤー招聘による輸出商談会の開催（国内輸出商談会）
    - ・9月6日：「うんまか鹿児島食品展示商談会」（鹿児島県、他主催）開催
    - ・11月27日：「ジェトロ食品輸出商談会 I N熊本」（熊本市内、JETRO熊本共催）  
（詳細は、輸出部会の項を参照）
  - ② 輸出拡大に関する各種セミナー開催
    - ・6月6日：食品輸出セミナー「ベトナムにおける日本食品の普及の状況や今後の可能性」（JETRO福岡共催）

## 3 人材育成・広報・調査事業

### （1）経営人材育成事業

- ① 農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座2018
  - ・年4回開催。（詳細は前掲のとおり、P2～3参照）
- ② 農業のビジネス化推進研修
 

農業経営者に、ビジネスとして成功するための農業経営について、企業経営の手法を取り入れた考え方や事例研究等を通して学んでもらうことを目的に中小企業大学校人吉校と連携して開催。

  - ・目的：農業経営者に、ビジネスとして成功するための農業経営について、企業経営の手法を取り入れた考え方や事例研究等を通して学んでもらうことを目的に開催。（受講者：14名、聴講生：7名）
  - ・主催：中小企業大学校人吉校
  - ・後援：九州農業成長産業化連携協議会（九州経済産業局）
  - ・日時：平成31年2月4日（月）～5日（火）
  - ・場所：中小企業大学校人吉校（熊本県人吉市）

### （2）高度経営人材事業

#### ○九州・ベトナム農業ビジネスミッション 2018

- ・目的：人材不足に悩む農業経営者の外国人材確保を後押しするため、海外での現地法人設立を促進すること、及び最先端の農業関連機器を日本の栽培方法と共にベトナムの農家に売り込むことを主な目的として開催。
- ・主催：九州農業成長産業化連携協議会（九州経済産業局）
- ・共催：九州経済国際化推進機構、JICA九州、JETRO福岡
- ・日程：平成30年12月2日（日）～8日（土）
- ・訪問先：ベトナム社会主義共和国（ホーチミン市、ハノイ市、ダラット市（ラムドン省）、モクチャウ市（ソンラ省））
- ・参加者：農業経営者・農業関連企業10社

### (3) 情報提供・発信事業

#### ① 関連施策説明会

- ・セミナー・現地視察、部会開催案内等を継続して迅速に発信。
- ・農林水産省・経済産業省の農業関連分野での支援施策、予算について情報提供。

#### ② 九州農業成長産業化連携協議会の認知度向上・会員数拡大

- ・セミナー、展示商談会等での紹介、入会チラシの配布、勧誘。
- ・平成31年6月末現在 会員数824（昨年度末から53会員増加）

## 4 部会の取組

### (1) 輸出部会

- ・目的：九州地域の農業団体・農業法人、漁協等の生産者、自治体と経済界等が一体となった農林水産物・食品の輸出拡大。

#### ① 第22回輸出部会（平成30年度第1回）

- ・日 時：平成30年6月14日（木）14:00～16:00
- ・場 所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・出席者数：35名
- ・概 要：ア 平成30年度活動実績及び活動予定について  
イ 企画運営委員会報告  
ウ 九州における農林水産物・食品関連の輸出実績について

#### ② 第23回輸出部会（平成30年度第2回）

- ・日 時：平成30年11月28日（水）14:00～16:00
- ・場 所：九州経済連合会会議室（福岡市）
- ・出席者数：21名
- ・概 要：ア 上期事業報告並びに下期活動計画  
イ 九州における農林水産物・食品関連の輸出実績について  
ウ 講演 「農作物の長期輸送鮮度保持方法」  
セブンシップ株式会社 國富 議生 取締役副社長

#### ③ 海外からのバイヤー招聘による商談会 開催（販路拡大）

##### ア「うんまか鹿児島食品輸出商談会」開催

- ・主催：JETRO 鹿児島、共催：九州農業成長産業化連携協議会
- ・日時：平成30年9月6日（火）10:00～17:30
- ・場所：鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島市）
- ・概要：バイヤー10か国30社（中国、韓国、マカオ、台湾、シンガポール、ドバイ、アゼルバイジャン、米国、仏、豪）国内企業も参加  
セラー63社
- ・結果：商談数493件、成約見込み件数89件

##### イ「ジェトロ食品輸出商談会IN熊本」

- ・平成30年11月27日（火）10:00～17:00
- ・場所：ホテル日航熊本（熊本市）

- ・概要：バイヤー：8か国、9社（仏、ポーランド、中国、タイ、ベトナム、豪州、ニュージーランド、香港）、セラー40社（予約商談会）
- ・結果：商談数 72 件、成約見込み件数 52 件

#### ④ 販路拡大に関する取り組み

##### ア「FOOD SYYLE 2018」

- ・平成 30 年 11 月 6 日（水）、7 日（木）9:00～17:00（最終日は 16:00）
- ・場所：マリンメッセ福岡（福岡市）
- ・概要：来場者：13,101 人  
当会から 12 社がセラーとして参加
- ・結果：商談件数 401（事前マッチングのみ）

#### ⑤ 輸出拡大に関する各種セミナー開催

##### ア「ベトナム食品輸出セミナー IN 福岡」

（主催：JETRO 福岡、福岡アジアビジネス支援委員会、九州農業成長産業化連携協議会）

- ・日時：平成 30 年 6 月 6 日（月）14:00～15:30
- ・場所：福岡 ABC セミナールーム（福岡市）
- ・概要：「ベトナムにおける日本食品の普及の状況や今後の可能性」  
JETRO ハノイ事務所 阿部 智史 ディレクター

## (2) 外食部会

- ・目的：生産者と外食事業者及び流通事業者等とのマッチング、食に関するセミナー等を推進し、販路拡大、付加価値向上等による生産者の所得の向上を図る。

### ① 第 8 回外食部会

- ・日時：平成 30 年 9 月 5 日（水）13:30～15:30
- ・場所：九州農政局会議室（熊本市）
- ・概要：ア 平成 29 年度の活動実績  
イ 平成 30 年度の活動方針  
ウ プレゼンテーション
  - i ぐるなび戦略共有会議及び商品展示会について  
（(株)ぐるなび）
  - ii ジビエ利用を巡る最近の状況について  
（九州農政局）
  - iii 「社食で地産地消」・「出張直売で地産地消」の取組について  
（(一社)九州経済連合会）

### ② 会員等が主催する展示商談会等における販路拡大

#### ア「ぐるなび商品展示会」

（主催：株式会社ぐるなび）

##### （ア）第 26 回 大阪会場

- ・日時：平成 30 年 9 月 12 日（水）10:00～17:00
- ・場所：帝国ホテル大阪 3 階 エンパイア（大阪市北区）
- ・出展者：28 社

- ・来場者：730名
- ・概要：飲食店関係者が集まる商品展示会において、会員7者の商品やパンフレットを展示し、会員と飲食事業者のマッチングを実施

#### (イ) 第26回 東京会場

- ・日時：平成30年9月27日(木) 9:30~17:00
- ・場所：セルリアンタワー東急ホテル 地下2階 ホールルーム(東京都渋谷区)
- ・出展者：42社
- ・来場者：1,299名
- ・概要：飲食店関係者が集まる商品展示会において、会員7者の商品やパンフレットを展示し、会員と飲食事業者のマッチングを実施

#### (ウ) 第27回 東京会場

- ・日時：平成31年2月6日(水) 9:30~17:00
- ・場所：セルリアンタワー東急ホテル 地下2階 ホールルーム(東京都渋谷区)
- ・出展者：31社
- ・来場者：1,238名
- ・概要：飲食店関係者が集まる商品展示会において、会員9者の商品パンフレットを展示し、会員と飲食事業者のマッチングを実施

#### イ「Food Style 2018 in Fukuoka」

(主催：FOOD STYLE 実行委員会 後援：九州農業成長産業化連携協議会)

- ・日時：平成30年11月7日(水)~8日(木) 10:00~17:00
- ・場所：マリンメッセ福岡(福岡市)
- ・出展者：403社
- ・バイヤー(事前予約イベント商談会参加バイヤー)：60社
- ・来場者：13,101名
- ・概要：小売、中食、外食業界向けの商談展示会に出展ブースを設置。会員12者の商品やパンフレットを展示し、会員とバイヤーのマッチングを実施

### ③ 生産者の6次化商品等の販売促進に向けたセミナー等の開催

#### ア「食に係わる事業者向け支援施策」

(「アグロ・イノベーション2018」(主催：(一社)日本能率協会)内のセミナー)

- ・目的：農林漁業者の6次産業化を推進し、農林水産物の付加価値向上による生産者の所得向上を図る。
- ・日時：平成30年6月20日(水) 14:00~15:00
- ・場所：マリンメッセ福岡(福岡市)
- ・概要：農林水産省の6次産業化支援について説明

#### イ「農商工連携・6次産業化・地域資源活用フォーラム」

(主催：九州農政局、九州経済産業局 後援：九州農業成長産業化連携協議会)

- ・日時：平成30年11月8日(木) 13:00~16:00
- ・場所：マリンメッセ福岡 2F 大会議室(福岡市)  
(Food Style2018 in Fukuoka 内において開催)
- ・参加者：118名(生産者、食品・流通事業者、行政等)

- ・概要：Food Style2018 in Fukuoka 内のセミナーにおいて、6次産業化、農工商連携、地域資源活用の取組事例紹介や HACCP 制度化等の説明。

#### ④ 協議会会員への情報発信

- ・農林水産物や食品の販路拡大、付加価値の向上につながる商談会、セミナー等のイベントや施策の情報を会員にメルマガで発信。

### (3) IT 部会

- ・目的：IT 活用による省力・経労化、経営合理化、生産性向上、販売力強化を推進し、所得向上を図る。

#### ① 第6回 IT 部会

- ・日時：平成30年10月1日（月）13：30～15：30
- ・場所：九州農政局会議室（熊本市）
- ・概要：ア 平成29年度の活動実績  
イ 平成30年度の活動方針  
ウ プレゼンテーション
  - i スマート農業の展開について  
（九州農政局）
  - ii 農業 ICT 普及等の推進について  
（(株)日本能率協会コンサルティング）
  - iii スマート農業の取組について  
（(株)クボタ）
  - iv ICT 等の最新技術の活用に関心がある事項について  
（九州農政局）

#### ② イベントや施策等を活用した取組

##### ア「スマート農業推進フォーラム（九州ブロック）」

（主催：九州農政局、後援：九州農業成長産業化連携協議会）

- ・日時：平成30年7月27日（金）12：00～17：00
- ・場所：熊本地方合同庁舎A棟 共用会議室（熊本市）
- ・参加者：214名
- ・概要：ICT やロボット技術等のスマート農業製品を提供する民間企業と当該製品を実際に導入した農業者をペアにして取組の紹介。また、スマート農業関連技術を扱う企業による技術や取組について紹介するポスターセッションを同時開催。

##### イ「スマート農業推進に関する IT 企業との意見交換会」

（主催：九州農政局）

- ・日時：平成30年9月21日（金）13：30～15：30
- ・場所：熊本地方合同庁舎B棟 会議室（熊本市）
- ・参加者：IT 企業12社、九州農政局
- ・概要：IT 企業（IT 部会員3社、協議会会員5社を含む）と九州農政局が実際の現場におけるスマート農業の取組・推進に当たっての課題等について意見交換を実施。

## ウ「九州発！ 現場のお困りごと対応技術ナビ」

(作成：九州農政局)

- ・九州農政局は、管内各県等から農村現場における「お困りごと」を広く集めるとともに、それに対応する企業等から ICT 等の技術情報の提供をまとめ、九州農政局のホームページに掲載。
- ・この技術ナビを作成するに当たって、会員に ICT 等の技術情報を募り、会員企業が持つ技術情報を提供。

### ③ IT 導入の取組事例の実態把握

- ・日時：平成 31 年 3 月 18 日（月）14：20～16：20
- ・場所：株式会社カラーリングファーム（福岡県久留米市）
- ・参加者：5 名  
（(株)日本能率協会コンサルティング、富士通(株)、事務局）
- ・導入 ICT：富士通「食・農クラウド Akisai」
- ・概要：ICT 導入の目的、導入後の課題と対応、導入の成果等を調査し、ICT 導入した事業者の実態を把握。

### ④ 協議会会員への情報発信

- ・IT 技術等に関する国、関係機関及び会員等のイベントや施策等の情報を会員にメルマガで発信。

## (4) 流通部会

(方針)

- ・流通部会の基本方針である「消費者が求める商品提供（マーケットイン）、生産・加工・流通における生産性向上・高付加価値化等（農業バリューチェーン）による生産者所得の拡大及び販路（需要・消費）の拡大を図ること」を踏まえた上で、東京オリンピック・パラリンピック 2020 や TPP11・日 EU 経済連携協定等の経済連携協定といった目前に迫っている関心事項をテーマに情報共有、意見交換および視察を実施。
- ・協議会の改組に伴い、部会は 25 回をもって休止。

### ① 第 22 回

- ・日時：平成 30 年 6 月 19 日（火） 13：00～15：00
- ・場所：福岡第一合同庁舎 本館 1F 九経交流プラザ
- ・議事：(1) 平成 30 年度流通部会活動方針案について  
(2) プレゼン

①農産物における物流について

農林水産省 食料産業局 食品流通課 企画調査班 企画係長 堀 晋介 氏

②プラズマ殺菌による農産物の長期保存について

九州大学 総合理工学研究院 教授 林 信哉 氏

### ② 第 23 回（「農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座 2018（第 2 回）」と合同開催）

- ・日時：平成 30 年 9 月 3 日（月） 8：20～17：30
- ・視察先：(1) JR 九州ファーム 玉名農場（熊本県玉名市）  
(2) (株)オプティム佐賀本店（佐賀県佐賀市）

③ 第24回（「農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座2018（第3回）」と合同開催）

- ・日時：平成30年12月21日（金） 13:00～16:20
- ・場所：グランメッセ熊本（熊本県上益城郡益城町）
- ・プログラム：（1）農産品のオリパラ調達について（公財）東京都中小企業振興公社  
（2）GAP取得の意義について特定非営利活動法人GAP総合研究所  
（3）熊本県の取組み

④ 第25回

- ・日時：平成31年3月12日（火） 10:30～12:00
- ・場所：九州経済産業局 九経交流プラザ
- ・議事：（1）プレゼン  
TPP11 や日 EU 経済連携協定等における農業関連の動向について  
ジェトロ上席主任調査研究員 長島 忠之 氏  
（2）今後の部会について